

第 8 回登米市総合教育会議会議録

会議の名称	第 8 回登米市総合教育会議	
開催日時	平成 3 1 年 1 月 1 6 日 (水)	
	午後 2 時 3 0 分 開会	
	午後 4 時 2 0 分 閉会	
開催場所	登米市役所 迫庁舎 3 階 第 3 委員会室	
出席者 氏名	市長	熊谷 盛廣
	教育長	高橋 富男
	教育長職務代理者	畠山 信弘
	教育委員	小野寺 範子
	教育委員	大久保 芳彦
	教育委員	佐竹 美香
欠席者	須藤 勝子 委員	
傍聴者	なし	
事務局職員氏名	総務部長	中津川 源正 (欠席)
	市長公室長補佐	佐藤 貴光
	教育部長	大柳 晃
	教育部次長	佐藤 嘉浩
	教育部次長兼学校教育管理監	及川 幸男 (欠席)
	教育総務課長	小林 和仁
	学校教育課長	遠藤 貞 (欠席)
	生き生き学校支援室長	菅原 栄夫
	生涯学習課長	日野 幸紀
	文化財文化振興室長	小野寺 和伸
書記	教育総務課 課長補佐	佐々木 清晴
議題	議題 1	平成 3 1 年度教育行政の方向性について
	議題 2	登米市立小中学校等再編構想 (案) について

	<p>司会</p> <p>熊谷市長</p>	<p>(開会 (午後2時30分))</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、第8回登米市総合教育会議を開会します。開会時間は午後2時30分といたします。</p> <p>初めに、市長から開会のご挨拶を申し上げます。</p> <p>挨拶</p> <p>皆さんこんにちは。改めまして新年明けましておめでとうございます。昨年中もいろいろご高配を賜りましたが、委員の皆様には本年も何卒よろしくお願い申し上げます。</p> <p>平成の時代もこの4月で終わりを告げ、5月から新しい元号に入るということになります。一つの大きな節目の年になると思っています。また、今、冬が真っ盛りで、インフルエンザ、風邪が流行っているようですので、委員の皆さんもご留意いただきたいと思えます。</p> <p>また、報告があったかと思いますが、昨日、米川小学校の爆破予告があり、私も大変驚いております。愉快犯であると思われませんが、明日まで無事何事も無ければと思っています。都会だけの話しと思っておりましたが、地元でこのような事件があり、大変迷惑しておりますし、子どもたちにとっても良いことではありませんので、警察にもしっかりと対策を立てていただきたいと思えますし、私たちも心配りが大切であると思っています。</p> <p>新年1月4日が仕事初めでありましたが、今年は、特に3つの点について頑張りたいと幹部職員の皆様に申し上げました。</p> <p>まずは、財政状況が厳しくなっている中で、地域医療をしっかりと構築していかなければならないこと、また、2点目は、合併特例債の廃止や交付税の減額で財政が厳しくなっている状況で、健全財政の維持について職員としっかりと意思を共有したいということです。3点目は教育についてで、特に学校再編をしなければならない時期を迎えていると思えます。厳しい課題であります、決して避けて通れないものと考えているところです。</p> <p>少子化、人口減少がかなりのスピードで進んでおり、登米市の人口も8万人を実質下回る現状です。</p> <p>こうした中で今後の登米市の小中学校のあり方もしっかりと精査していかなければならないと思えます。今後、学校再編の作業も急いでまいりたいと思えますので、委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それからご報告であります、昨年はエアコン設置が自治体の大きな課題となりました。教育委員会には、昨年のような暑い日が続くようであれば、対応を考えなければいけないということで指示を出しておりますが、その当時に12から13億円かかるということでありました。今の財政状況を考えますと一般財源ではかなり厳しく、学校再編も考えますと無駄な投資がでてくる可能性もあるということで迷っておりましたが、国でもこの問題は看過できないということで財政支援を行うこととなりました。ただし、今年1年に限ったの支援ということで、先般の12月定期議会において、補正予算を提案いたしまして、全ての幼稚園、小中学校に設置することとなりました。</p>
--	-----------------------	--

議題・ 発言	熊谷市長	<p>国の支援と有利な起債もあり、一般財源は7,000万円となりましたので、設置を急ぎたいと考えております。</p> <p>また、全国一斉、宮城県一斉となりますので、機材の調達や業者がしっかりと対応できるかなど課題も残っておりますが、設置作業を急がせたいと思います。</p> <p>いろいろと教育行政については、課題が山積していると思いますが、教育委員の皆さんには、本日を含めまして、今後ともご指導をいただき、より良い教育行政を進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	司会	<p>それでは、議事に入ります。議事の進行に当たりまして、熊谷市長に議長をお願いいたします。</p>
	議長・熊谷市長	<p>それでは、議題に沿って会議を進めさせていただきます。</p> <p>初めに、「平成31年度教育行政の方向性について」を議題といたします。事務局から資料の説明をお願いします。</p>
	大柳教育部長	<p>（「平成31年度教育行政の方向性について」の概要を説明）</p>
	佐藤教育部次長	<p>（資料1、資料1-②に基づき説明）</p>
	議長・熊谷市長	<p>ただいま、事務局から「平成31年度教育行政の方向性」の整理について、基本方針として掲げる大きな5項目については平成31年度も継承したいということと、平成31年度基本方針に基づく主要事業等具体的な取組が見えるよう作成した体系別のアクションプランの素案について説明をさせていただきました。</p> <p>委員の皆様から、平成31年度の基本方針の素案並びに基本方針体系別アクションプランの素案につきまして、ご意見をお伺いいたします。</p>
	議長・熊谷市長	<p>初めに畠山教育長職務代理者からお願いいたします。</p>
	教育委員・畠山教育長職務代理者	<p>具体的な説明をいただき、ありがとうございました。</p> <p>登米市の教育基本方針は、現行のものを引き継ぐことで良いと考えます。理由は3点あります。一つ目は、大きな方針はむやみに変えるべきではないということです。それから、二つ目は、現行の基本方針はここ数年同じ内容であり、方針はある程度幅広く解釈ができる文言で良いと考えるからです。三つ目は、教育の振興に関する施策の大綱の次期計画の策定が平成33年度となっていることから、見直す時期はその時期が適切で、それまではこの基本方針でよろしいと思います。</p> <p>また、説明を聞いて着目した点は、この方針に基づく教育重点施策は、若干変更はありますが、系統的になっており非常に分かりやすいと思います。さらに体系別アクションプランが設定されていることに意義があると思います。ただ、このアクションプランを策定した以上は、進捗状況や達成度についてしっかり評価していくこと</p>

<p>議題・ 発言</p>	<p>教育委員・畠山 教育長職務代 理者</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>教育委員・ 小野寺委員</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>大柳教育部長</p>	<p>が大切であり、担当課で責任を持って計画し、実施し、評価するという一連の流れでやっていかないとお題目だけで終わってしまいます。責任のある人員配置と評価を義務づけが必要であると思います。</p> <p>結論的には、来年度は5つの基本方針は変更せずに、評価をしっかりと行い、次期の平成33年度の次期大綱の見直しに備えればよろしいかと思えます。</p> <p>畠山委員からは、教育基本方針については、平成33年度の見直し時期まではよろしいではないかという意見をいただきました。体系別アクションプランの進捗と達成度について、これをしっかりとその都度示すべきであるということは、私自身もそのとおりであると思えますので、教育委員会では教育委員さん方に達成度をお知らせできるようにお願いします。</p> <p>また、お題目で終わらせないためにも人員配置を考えていただけないかということですが、教育委員会は膨大な事業を抱えており、ハードな状況におかれておりますので、少しでもそういった形をとりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>次に小野寺委員、お願いいたします。</p> <p>特に基本方針（素案）の文言等に意見はございませんが、「小中学校等再編構想に基づき、教育環境の整備を推進します。」という文言が入ったことにより、喫緊に推進委員の選任や実施計画の策定を早急に進めてほしいと思えます。</p> <p>体系別アクションプランについては、エアコン設置がありますが、学校再編とあわせ、スムーズな設置をお願いいたします。</p> <p>それから、体系別アクションプランとは別の意見になりますが、学力向上やいじめ対策の基礎をつくる場合は、家庭からと思えます。</p> <p>登米市では認定こども園に移行するということであり、特色のあるこども園になっていただきたいと思えますが、教育委員会部局から幼稚園が段々減っていき、入園式や卒園式で園児を見る機会が無くなっていきますので、これからは、こども園の入園式や卒園式でこどもの将来を見ていきたいと思えます。</p> <p>小野寺委員からは、基本方針については、このとおり了解だということ、学校再編については、しっかり体制を整えてほしいということであったかと思えます。</p> <p>教育環境の整備について今後どんな形で進めていくか、また、こども園に対しての要望がございました。この点について、大柳教育部長から現在答えられる範囲でお願いします。</p> <p>エアコン設置につきましては、国の補正予算で平成30年度の予算になりますが、12月補正予算ということで、年度内の機材を調達し設置することは物理的に難しいということから、平成31年度に繰り越しすることで計画しております。現段階では、校舎を建てた時期が様々ですし、電気容量の設備なども小中学校と幼稚園で違いがありますので、その実施設計をこれからお願いするということ</p>
-------------------	--	---

<p>議題・ 発言</p>	<p>大柳教育部長</p>	<p>になっております。</p> <p>できれば、一番暑い夏の時期に間に合わせたいと考えておりますが、全部の小・中・幼を間に合わせることは物理的に難しい状況です。それでは、小・中・幼のどこを最初に設置すればいいのかということですが、今後、実施計画を作る上で現地調査を行いますので、その内容が見えてきた段階で、一番効率的に、早期に設置できるような計画を作っていきたいと考えております。</p> <p>また、認定こども園との関わりですが、こども園になっても教育と保育が一体となっているということですので、幼稚園教育はそのまま残っております。その中で教育委員さんの関わりは当然出てくるということです。</p> <p>具体的な関わりについては、移行期間であり具体化しておりませんが、こども園は市長部局の福祉事務所が所管となりますので、教育委員さんとの福祉事務所との効果的な関わり方をどのように作っていったらいいか、私立幼稚園も含めた中で、検討させていただきたいと思います。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>次に、大久保委員からお願いします。</p>
	<p>教育委員・ 大久保委員</p>	<p>私もこの基本方針に賛成です。なお、大綱の見直しが平成33年にありますが、東和中学校の志教育で講演された浅野先生という脳外科医で脳手術をする際の設計をする先生や、幾何学アートのサトウ・サトル先生などおりますが、この方々のように海外で生きる力という文言もすぐにではありませんが、大綱の見直しで必要になってくるのではないかと感じております。</p> <p>それから、体系別アクションプランの幼稚園教育ですが、「はやね・はやおき・あさごはん」で、あさごはんは、パンではなく米のご飯のことで、ご飯の必要性はこどもの脳の発達に影響があると東北大学の川島隆太先生も唱えておりますので、しっかりと繋いでいただければと思います。</p> <p>また、事業の達成度や評価ですが、事業によっては評価しきれない部分もあるかと考えます。事業や会議の回数など数字だけで捉えられるものだけではないはずですので、評価の仕方の工夫が必要であると思います。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>大久保委員からは、基本方針についてはこのままでよろしいというご意見でありました。</p> <p>海外にいろいろな形で目を向ける、グローバル視線を持つということは、これからの登米市の子どもたちの教育にとっては良いことであると思います。現在も毎年カナダやアメリカ、オーストラリアに子どもたちを派遣しておりますが、これは限られた人数となっております。派遣された子どもたちにとっては大きく視野が広がり、非常にプラス面が大きいと思いますので、この事業は継続して行っていききたいと思いますし、小学校からの英語教育も大切になってくると思います。</p> <p>子どもの時から海外に目を向ける、海外を意識する、海外に行って活躍したいという気持ちを持つということは、大切な事であると</p>

<p>議題・ 発言</p>	<p>議長・熊谷市長</p> <p>高橋教育長</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>教育委員・ 佐竹委員</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>議長・熊谷市長</p>	<p>考えます。</p> <p>達成度の評価については、庁舎内で内部評価を行っておりますが、大久保委員がおっしゃるような形とは違う評価が出ている可能性があります。評価の中身、内容だと思しますので、どのような形で評価をすればいいのかは、今後の課題とさせていただきたいと思えます。</p> <p>それから、教育長から小学校の英語教育の現状について、どのようになっているか説明をお願いします。</p> <p>2020年から完全実施となっており、現在は試行期間となっております。完全実施した場合には3・4年生で週1時間、5・6年生は週2時間の義務化となりますので、ALTの配置を小学校にも力を入れてやっていかなければならないと思えます。</p> <p>それでは、佐竹委員、お願いします。</p> <p>基本方針については、このままでよろしいと思えますが、親の立場として小中学校の再編について、考えなければならぬと思っております。</p> <p>再編に伴って、親としていろいろな方々から話を伺っております。統合しなければならぬからとか、財政が厳しいからとかではなく、子どもたちにとっていい環境とは何かを考えて再編してほしいという声が多く聞こえてきます。</p> <p>アクションプランの3ページの(7)の望ましい学習環境整備の推進で、各学校の修繕事業があげられております。私も各学校のPTA会長さんとお会いする機会が多くあり、その中で自分の学校でこんなところが壊れていて大変であるとかという声もよく聞きます。親としては一番に子どもたちを安全に学校にやりたいというところがありますので、安全面を考えて整備をしてほしいと思っております。</p> <p>親は、安心して通える学校、開かれた学校づくりという中でも、プラスして、学習環境において安全性を求めていますので、そういう点を考えて整備を推進してほしいと思えます。</p> <p>佐竹委員からは、基本方針はこのままでよろしいということでした。また、学校再編を含めてであります。子どもたちにとって、何が一番いいのか優先的に考えてほしいとのことでした。</p> <p>学校環境の整備ということですが、予算編成の真っ最中でありまして、教育委員会からもたくさんの要望があがってきます。特に校舎の老朽化や校庭の整備もかなりの要望があります。全てが対応できる訳ではありませんが、優先順位をつけながら財政の許す範囲で対応していきたいと考えております。精査をしながら、できるだけ早く対応していければと思えます。</p> <p>それでは、本日、須藤委員が欠席しておりますが、別紙のとおり意見を頂戴しておりますので、教育長からお伝えいたします。</p>
-------------------	--	--

議題・ 発言	高橋教育長	<p>それでは、本日、須藤委員が欠席しておりますが、別紙のとおり意見を頂戴しておりますのでお伝えしたいと思います。まずは、読み上げますので、別紙をご覧くださいと思います。</p> <p>(高橋教育長が別紙の意見を朗読)</p>
	高橋教育長	<p>認定こども園に向けた幼稚園・保育所との連携強化並びに保育士や幼稚園教諭の指導力向上についてのご意見でした。</p> <p>これまでも指導力向上などの研修を行ってきましたが、さらに研修が必要ではないかということ、特に保育士については、スキルアップの研修を行ってほしいという内容の意見であると思います。</p>
	議長・熊谷市長	<p>それでは、「平成31年度教育行政の方向性」についての協議は、これでよろしいですか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p>
	議長・熊谷市長	<p>それでは、「平成31年度教育行政の方向性について」は、ただいま協議した内容で基本方針と体系別アクションプランを整理し、事務局はその内容について教育委員会議で、教育委員の皆様を確認をいただくようお願いします。</p>
	議長・熊谷市長	<p>次に、「登米市立小中学校等再編構想(案)について」を議題といたします。この件につきましては、昨年8月17日の第7回総合教育会議において、再編構想の骨子について、基本的な考え方と進め方を協議していただいております。</p> <p>今回は、その骨子案に肉付けし、再編の基本方針をより具体にした再編構想案について、資料が提出されておりますので、事務局から説明をお願いします。</p>
	大柳教育部長	<p>(「登米市立小中学校等再編構想(案)について」の本構想(案)策定までの経緯及び概要を説明)</p>
	小林教育総務課長	<p>(資料2、資料2-②に基づき説明)</p>
	議長・熊谷市長	<p>それでは、ここで午後3時45分まで10分間休憩いたします。</p> <p>(休憩 午後3時35分～午後3時45分)</p>
	議長・熊谷市長	<p>再開いたします。</p> <p>それでは、委員の皆様からご意見をお願いいたします。</p> <p>畠山教育長職務代理者からお願いいたします。</p>
	教育委員・畠山教育長職務代理者	<p>はじめに、この学校再編をスムーズに推進していくためには、推進のための専門の部署が必要ではないかと思っております。学校再編への本気度を示し、市民との信頼関係を構築しながら進めていくために</p>

<p>議題・発言</p>	<p>教育委員・畠山教育長職務代理者</p> <p>議長・熊谷市長</p>	<p>は、学力向上や不登校、いじめ対策のために生き生き学校支援室がありますが、同じように専門部署が必要であると考えます。計画についても、9町域の広範囲となりますし、学校がなくなる地域にとっては死活問題となりますので、丁寧な説明が必要になってまいります。そのためには、一人二人での対応では難しいのではないかと思います。他県の状況を見ましても、学校再編推進室というものが設置されているようであります。そのような部署を設置していただくことが重要であると思います。</p> <p>それから、説明された構想案について何点かお話しさせていただきます。平成27年度の基本方針に基づいて、平成28年度の地域懇談会、座談会を開催した後に、保護者アンケートを行い、意見をまとめておりますので、下地はほぼ整ったのではないかと考えております。つまり、住民も再編に一定の理解が持たれたということで、市、教育委員会の出方を見守っているのではないかと考えられます。</p> <p>これから再編を推進していく上では、地域に主体性を持たせることが重要であります。それを地域で話し合うメンバーを教育委員会のリーダーシップのもとに決定することが大事であると思います。例えば、町域では区長会、民生児童委員会、中学校を中心としたPTA連絡協議会があるのではないかと思います。学区としては、公民館運営協議会や、学校はPTA、学校運営協議会などがありますので、そういう中から、教育委員会として学校再編の合意形成が得られるメンバーを多からず、少なからずの人数で決めていくことが大切であると思います。</p> <p>また、合意形成のための話し合いの期間は、できれば1年以内が望ましいと考えます。</p> <p>教育委員会は、情報提供や説明責任を果たすなどルールを決めた後は、保護者、地域住民が主体性を持たせながら進んでいくようにお世話をすることがいいのではないかと思います。</p> <p>計画が10年で前期、後期と分かれています。最初が肝心であると思いますので、進め方を誤らないように住民主体で合意形成ができて進んでいくような方向がいいと考えます。</p> <p>私も担当部署とまではいかなくとも担当者の配置は必要であると考えております。人員配置は現在タイトでありまして、今すぐ返事を申し上げることはできませんが、しっかりと担当者を置くことは必要であると考えますので、人員配置は今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>また、地域の意見聴取のあり方について、ご意見をいただきました。これまでも町域での地域座談会、保護者説明会を重ねてきましたが、地域の意見を聞くということは難しい面があると思います。</p> <p>また、議論が元に戻るといことが無きにしも在らずで、慎重にしなければならないと思いますが、必要なことでもあると思います。</p> <p>学校再編については、総論賛成、各論反対の意見がかなり出てくると考えられます。保護者の皆さんは早く進めてほしいが、地域の皆さんは、学校が無くなるということは地域が廃れる大きな要因となるということで、相反するものがございます。</p> <p>畠山教育長職務代理者がお話しいただいたように、ある程度、地</p>
--------------	---------------------------------------	---

<p>議題・ 発言</p>	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>域の皆さんも止むを得ない状況になってきていることは、ご理解いただきつつあるのではないかと思いますので、ご意見を参考にさせていただきたいと思います。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>次に、小野寺委員からお願いします。</p>
	<p>教育委員・ 小野寺委員</p>	<p>保護者アンケートの回答率が約82%ということで意識の高さを感じます。その中でも早急に進めてほしいという意見が約50%を占めておりますので、畠山委員がお話ししたように専門部署の設置、地域委員の選任を早く進めていただきたいと思います。</p> <p>また、市として小中一貫校は考えていないということですが、複式学級で老朽化が進んだ小学校は、中学校の教室を一時借りるということも一考であると思います。複式学級のある東和も小学校3校では通学距離が遠くなるので、まずは2校とか段階的な統合もいいのではないかと考えております。</p> <p>中学校の再編については、どことどこを統合するというのではなく、中学校は老朽化が進んだ校舎が多いので、市内に中学校を何校造るかを決めて、それから通学距離によって生徒数を振り分けてみてはどうかと思います。同じ小学校の児童が中学校で離れるということは、いろいろな人と関われるということ、登米市は一つであることを児童に考えてもらういい機会になるかと思えます。</p> <p>財政や人員など難しい面もありますが、小学校の再編と並行して、中学校の再編も進めてほしいと思います。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>中学校の再編については、小学校の再編後という方針がありますが、いろいろな意見の中には、むしろ最初に中学校から再編を進めたほうがいいのではないかという意見もあります。</p> <p>中学校は各町域に1校ずつ、新田中学校を入れて10校ある状況ですが、このまま10校を維持していくことは難しいと思いますので、中学校の再編も小学校の再編と併せて視野に入れていくことが必要だと考えます。議会からもそのような意見を賜っておりますので、参考にしたいと思います。</p> <p>また、財政の話が出ましたが、土地と建物を無駄にしたくないという思いもありますので、できるならば片寄せが大きな選択肢になってくると思います。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>次に、大久保委員からお願いします。</p>
	<p>教育委員・ 大久保委員</p>	<p>保護者アンケートからは、一言で言えば、安心安全な学習環境の場の提供が求められていると思います。再編協議を進める上で、財政的な支援が本当に受けられるのかという不安もあるのだらうと思います。その点については、丁寧な説明で理解を求めていく必要があると考えます。</p> <p>中学校の再編も関係する案件もあるということで、小学校の再編と同時進行していかないと期待に答えられない部分がありますので、人員の確保、専門部署がどうしても必要であると思います。</p> <p>また、それを裏付ける財政もしっかりしていないと、本当に早急</p>

<p>議題・ 発言</p>	<p>教育委員・ 大久保委員</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>教育委員・ 佐竹委員</p>	<p>にできるのかということで、それが住民皆さんの一番の不安になっているのではないかと思います。</p> <p>現実の児童生徒数を考えた場合、津山と東和を早急に進めなければならないと思っていますし、一番に子どもたちのことを中心に考えて進めていくことが、学校再編で大切であると考えております。</p> <p>それから、再編を検討するメンバーですが、年度を越える場合もあり、再任も含めたメンバー構成を考えなければならないと思います。また、任期によってはメンバーが変わる場合もありますので、議論が足りなかった部分は、しっかりと引き継ぐような体制として、議論が最初に戻らないように十分注意すべきだと思います。</p> <p>学校再編は10年後を見据えるのではなくて、20～30年後を見据えていかなければ、無駄な投資になる可能性があると思っています。10年後にこうなるということで、小学校が何校で、中学校が何校でと想定してやっても、もっと10年後、20年後の見通しをみるともっと児童生徒数が減ってしまったとなると、ある意味無駄な投資になると思いますので、少し長いスパンで物事を考えていかなければならないと考えております。</p> <p>また、校舎の大半は築40年前後となっており、学校は安全が最も重要ですので、その点を踏まえた再編が考えられると思います。</p> <p>大久保委員から貴重なご意見をいただきましたが、例えば、地域の皆様からご意見を伺う時に、議論が戻らないように、行政、教育委員会としても再編は不可避であるというところから議論が始まっていかなければ、無駄な時間を費やすことになるのではないかと私も思いますので、その点はしっかりと精査させていただきます。</p> <p>それでは、佐竹委員からお願いします。</p> <p>先ほども触れさせていただきましたが、保護者は子ども達が少なくなってきたいて、学校再編は必要だと十分理解していると思います。</p> <p>ただ、その進め方について、地域での差がありますが、いろいろな意見が出ております。その中で、保護者は、学校再編の必要性や子ども達がこれぐらい減ってきているというような話を聞く機会が増えていきますし、PTAとしても市からの説明を受けたりして、学校再編は大事、子ども達にとって必要であると理解しています。しかし、地域住民の皆さんからは、なぜ再編が必要なのかということで、理解されにくいところがあると思っています。</p> <p>先日、地域コミュニティの方々とは話をすることがあり、PTAとしてどう考えているか、地域に学校がないと困るという話をされましたが、地域の方々には、学校を中心に考えているところがあり、学校がなくなってからのまちづくりをどうしていくのかという点を考えているところがあります。</p> <p>保護者としては、子どもにとっての再編というところで考えていきたいと思っています。平成31年度4月から市内全ての学校でコミュニティスクールとなりますが、その中には、学校関係はもちろん、PTA、コミュニティの方々もメンバーに入っておりますので、</p>
-------------------	--	--

<p>議題・ 発言</p>	<p>教育委員・ 佐竹委員</p>	<p>学校の現状や再編の必要性など意見交換して、コミュニティスクールの中で再編を考えていくことができるのではないかと思います。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>大変、貴重なご意見をいただきました。地域と学校の関わりについてお話がありました。確かに地域の方々はそのような思いがあると思いますし、今後、全ての町域の学校がコミュニティスクール化していくとすれば、学校再編との整合性をとった進め方が大きな課題になってくると思います。</p> <p>今後の進め方について、事務局ではどのように考えているでしょうか。</p>
	<p>大柳教育部長</p>	<p>非常に難しい問題で、それが一番どこの自治体でも学校の統廃合において課題になっているところです。</p> <p>子ども達の中心の学校再編、教育環境づくりと地域コミュニティづくりをセットで考えていくことは、少子化の進行速度と教育環境整備とが一致しないということで、切り離して進めている自治体と、また、一緒に考えている自治体もあります。</p> <p>現段階の再編では、町域に一つの小学校は残すということから、町域に一つのコミュニティの形で地域づくりができるのかということが、大きな課題となってきます。町域で一つのコミュニティとしてやってきているところもありますし、町域の広さも違いますので、町域で3つ、4つあるところもございます。</p> <p>この課題は、教育委員会だけではなかなか解決できないと考えますので、コミュニティ組織の育成を今後どう進めていくのかを、別の協議会を作るなどし、市長部局の地域づくり担当部署の企画部と一緒に進めていく必要があると思います。その前提には、学校を核としたコミュニティから脱却した地域づくりがどうあるべきなのかという考え方を今後研究していく必要があると考えております。</p> <p>なかなか答えがでにくい課題でありますので、教育委員会だけではなく、市長部局全体のそれぞれのセクションで考えていきたいと現段階では考えております。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>現状でコミュニティスクールが何校かありますが、運動会などの行事を地域の方々と一緒にっており、いい状況で進められていると思います。学校が再編後のコミュニティスクールのあり方が、コミュニティそのもののあり方と一緒にであると思います。難しい課題であると思いますが、これはやらざるを得ないと考えます。</p> <p>コミュニティスクールを維持するために、学校再編を逃すという訳にはまいりませんので、その点はうまく進めていかなければならないと思います。</p>
	<p>議長・熊谷市長 高橋教育長</p>	<p>それでは、須藤勝子委員のご意見をお願いします。</p> <p>先ほどと同様に資料がございますので、それを読ませていただきます。</p> <p>(高橋教育長が別紙の意見を朗読)</p>

<p>議題・ 発言</p>	<p>高橋教育長</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>議長・熊谷市長</p> <p>司会</p> <p>教育委員・畠山 教育長職務代 理者</p> <p>司会</p> <p>司会</p>	<p>補足をさせていただきたいと思いますが、免許外指導となっていない学校は、中学校10校のうち佐沼中、中田中、米山中の3校ですが、現在、米山中はぎりぎりの状態ですので、来年度に免許外指導の対応になるかも知れない状況です。</p> <p>それから、学校の事務官についてですが、来年度、津山中には配置されずに、他の学校との兼務での対応となる見込みです。</p> <p>須藤委員は中学校もこのような現状であることから、中学校の再編も小学校と併せて考えていくべきであるとのことのご意見であると思います。</p> <p>須藤委員は、以前からこのような話をしておりましたが、中学校の再編も早く考えてほしいとのことのご意見でありました。</p> <p>「登米市立小中学校等再編構想（案）について」の協議は、これでよろしいですか。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>それでは、「登米市立小中学校等再編構想（案）について」は、ただいま協議した内容で整理し、事務局はその内容について教育委員会会議で、教育委員の皆様を確認をいただくようお願いいたします。</p> <p>大変いい議論ができたと思いますし、委員の皆様から大変貴重なご意見をいただいたと思いますので、できるだけ今日の意見を実現できるよう進めてまいりますので、今後ともご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。</p> <p>議題についてはこれで終了とし、進行を司会に戻します。</p> <p>その他といたしまして、事務局では特に連絡事項等はありませんが、委員の皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>この学校再編構想は、3月までに策定するというところで、議会へも説明を行うということになると思いますが、急いでいただき、平成30年度に策定し、平成31年度からすぐに着手できるような体制づくりをしていかなければならないと感じました。</p> <p>ほかにございませんでしょうか。</p> <p>（「なし」の声あり）</p> <p>それでは、以上をもちまして、第8回登米市総合教育会議を終了とさせていただきます。</p> <p>長時間にわたり、大変お疲れ様でした。</p> <p>開会（午後4時20分）</p>
-------------------	---	--